

第2次佐世保市文化振興基本計画（案）のパブリックコメントに係るご意見と佐世保市の考え方

No.	ご意見（概要）	佐世保市の考え（概要案）
1	計画には、図書館や読書振興に関する具体策が無いようだが理由を知りたい。佐世保市は文化振興上、図書館や読書が重要ではないと考えているという認識なのか。	図書館や読書振興に関しては、本年3月に策定しました佐世保市教育振興基本計画（第3期）、第三次佐世保市子ども読書プランにて整理しています。 もちろん文化振興とは密接な関係にある取り組みであると認識しておりますので、その旨本計画上にも記載を行うこととします。
2	市立図書館を文化拠点の代表格としてカウントしてほしい。25万人都市に図書館が1館しかないのは、少ない。分館を設置してほしい。	計画中にある「市主要文化施設」については、文化振興を第一の目的として設置しており、貸館のみならず鑑賞等の自主事業を行っている施設と定義しています。また、図書館については、教育を第一の目的として設置している施設であることから、「市主要文化施設」とは位置付けておりませんが、文化振興にも資する施設であるという認識のもと、「市内の文化施設の例」として掲載しております。図書館の分館について、名称としての「分館」は、現在市内にありませんが、地区公民館併設の図書館が相互貸し出し機能などを含め実質的にはその役割を担っていると考えております。
3	図書館をはじめとする文化施設には非正規職員も多いが、現在の予算配分のままで待遇向上、施設の質の向上を図ることは可能なのか。	今回の文化振興基本計画の中でも、文化施設の質の向上を目指していく方向性を記載しているところであります。次期文化振興基本計画の実施において、限られた人的資源、財源の中、施設の質の向上をいかに実現できるかという観点から、予算配分や職員の雇用形態についても常に検証を行っていきたいと考えております。
4	市内の児童・生徒に向けてジャズを広めるような活動（授業や部活動）は行っているのか。	小・中学校における音楽科の目標は、「表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。」とされており、多様な音楽を幅広く直接体験することの重要性が示されております。そのようなことから日頃の授業、また部活動等において、ジャズを含めたような音楽とのふれあいを通して豊かな情操を育んでいきたいと考えております。
5	市内の中学校の文化部の数や種類が減少している現状についてどう考えているのか。文化祭も合唱コンクールへと縮小している。	文化部の数や種類の減少の要因としては、少子化やそれに伴う学校規模の変化、または生徒の興味・関心、学校外の活動の多様化があると考えています。このような状況ではありますが、各学校においては、より教育効果の高い取り組み方を模索しながら鋭意取り組んでいるところです。